

麻生区町連だより

2016 (平成28)年2月1日 発行



発行所 麻生区町会連合会
http://www.asao-chouren.com/index.htm
発行人 会長 中島泰己
事務局 川崎市麻生区役所
地域振興課地域活動支援係
電話 965-5113
印刷 ㈱メディアスタクリの窓新聞社

新年のごあいさつ
麻生区町会連合会会長 中島泰己



お礼を申し上げます。
麻生区町会連合会は、「人と人とのつながり」「顔の見える関係づくり」を最も大切なものと考え活動しております。

明けましておめでとうございます。
平成28年の新春を皆様と共に迎えることができました。心よりお慶び申し上げます。
平素は、麻生区町会連合会の諸事業並びに運営などに対し、皆様の温かい御理解と御協力をいただき厚く

鈴木 浩一 氏



平成27年度川崎市自治功労者

(柿生駅前町内会会長)

功績のあった方を表彰しています。各区長からの推薦により、市自治功労者選考委員会で選考しています。

今年度の川崎市自治功労者表彰者に、麻生区から鈴木浩一氏(柿生駅前町内会会長)が選ばれました。

自治功労者表彰は、町内会長などを10年以上務め、地域住民の福祉増進と住民自治の振興に貢献し、特に顕著な

を通して安全で明るく住みよいまちづくりを日々、積極的にすすめておられることに心より敬意と感謝の意を表します。

昨年、北関東を中心とした記録的な大雨の影響で、鬼怒川の堤防が決壊し、住宅地や商業施設への浸水など、各地域に甚大な被害をもたらしました。

川崎市においても全域に土砂災害警戒情報とともに一部地域に避難勧告が発令されるなど、様々な出来事がありました。

被害にあわれた方には、一日も早い復興を願っております。

多くの不安要素が地域生活を脅かす中、家族や地域での絆の大切さを学び、誰もが安心して生活できる地

域づくりを広めていくことが求められます。

超高齢化社会を迎える中、町会・自治会の役割は益々重要となり、今後とも更に行政とパートナーシップを発揮し、「人と人のつながり」「顔の見える関係づくり」を大切に、安全で安心して暮らせるまちづくりや地域における様々な課題解決に向けて、取り組んでまいりたいと思っております。

結びになりますが、麻生区内の町会・自治会の皆様とともに明るく楽しく、また、豊かで活力のある麻生区創造のため力を尽くして参りたいと存じます。

本年も皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

平成28年麻生区 賀詞交歓会開催



平成28年1月8日新百合21ビルにおいて、麻生区5団体(麻生区町会連合会・麻生区社会福祉協議会・麻生区商店街連合会・麻生防犯協会・麻生防火協会)の主催による平成28年麻生区賀詞交歓会が盛大に開催され約300名が参加されました。

麻生区町会連合会「勉強会」開催

恒例となりました「地域を知る」をテーマとした勉強会を、平成27年11月20日に開催しました。

今回は、上麻生・下麻生の2地区にスポットをあてました。

上麻生地区の麻生水処理センターでは、各家庭から出される、汚れた水や雨水などを汚水処理し、近隣の川へ放流する過程のビデオ上映や実際の処理施設を見学しました。

また、同センターのホールで、地元の上麻生東町内会、清水会長から町内会の歴史などについての講話がありました。



麻生水処理センター施設説明

恩廻公園調節池では、鶴見川の洪水対策として、高さ10.5mに一時的に貯留することができる施設を見学しました。

ビデオ上映での概要説明の後、実際に入った地下トンネルの大きさに圧倒されました。

また、同地区の麻生不動院では、「ふるさと麻生八景」にも選ばれ、関東の納めダルマ市として賑わう不動院について、志田弘一総代から説明を受けました。



地下トンネル内部の見学

舞台上では、麻生区文化協会のご協力による「あさおまつり唄」の踊りが披露され、会を華やかに盛り上げました。

平成27年度 麻生区町会連合会 「対市要望」について

単会の町会・自治会だけでは解決困難な課題について、当連合会として行政など関係機関へ改善など要望を行い、課題解決に向け取り組んでいます。

平成27年度の要望事項は次のとおりです。

- 1 町内会・自治会活動について一定の法的な支持が得られるような条例制定または現存の条例の改正について
- 2 地域住民による見守り・支援の対象となる高齢者などに関する情報について
- 3 災害時用の公的備蓄物資の備蓄計画について
- 4 救急医療情報キットの導入について
- 5 横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅延伸計画及び同駅周辺の再開発について
- 6 小学校通学路の安全及び交差点エリアの整備などについて